

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷お問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)

地震・津波に備え、慌てず冷静に避難を

11月28日 地震・津波避難訓練

地震発生を想定して地震から身を守るシェイクアウト訓練を小中学校などで行いました。さらに地震発生後に大津波警報が発表され、津波が30分以内に到達する想定のもと、高台にある航空自衛隊芦屋基地やマリントラスあしや、校舎屋上などの町内全5カ所で、避難訓練を行いました。今回の訓練は、航空自衛隊芦屋基地や折尾警察署などの協力のもと、小中学校や自治区などから1200人ほどが参加し、地震や津波から身を守るための行動を確認し、災害に備えました。



芦屋港活性化にむけた次なるステージへ

12月3日 芦屋港活性化推進委員会へ諮問

芦屋港活性化のために必要となる福岡県の「芦屋港港湾計画」が変更されたことに伴い、今後の検討課題を調査検討するため、中西副町長から芦屋港活性化推進委員会の内田晃委員長に「芦屋港及び周辺機能等の活性化について」の諮問書を交付しました。また、外部有識者で構成された「エリアマネジメント専門分科会」を設置して、幅広い視点から専門的かつ客観的に現状を分析し、管理運営方法や運営組織の形成などを調査検討していきます。



やりたいことに挑戦しよう！継続は力なり！

11月21日・28日 ジュニアバレーボール・サッカー体験教室

新型コロナウイルスの影響で、さまざまなスポーツ活動が中止される中、子どもたちの運動不足による体力低下の解消を目的に、NPO法人スポネット・しろやま主催のジュニアバレーボール体験教室が芦屋小学校体育館で、初心者サッカー体験教室が芦屋東小学校グラウンドで行われ、町内の小学生が参加しました。

ジュニアバレーボール体験教室には、芦屋町出身のJOC元全日本バレーボール代表選手、濱田（旧姓 中西）千枝子さんが指導者として参加。濱田さんは、バレーボールというスポーツから得るチームワークなどの経験を将来の自分に役立てて欲しいと話しており、参加した子どもたち同士が交流を深める姿を見守っていました。

初心者サッカー体験教室には、湘南ベルマーレの元プロサッカー選手、戸田賢良^{たかよし}さんが指導者として参加。冬空の下、元気にボールを追う子どもたちを指導しました。また、戸田さんが「プロになりたい人はいる？」と聞くと4人が手を挙げていました。

新たなプロスポーツ選手の誕生が待ち遠しいですね。

茶の湯釜の美 住友コレクションの名品と復興芦屋釜

11月21日 中央公民館講座

開園 25 周年を迎えた芦屋釜の里で特別展示されている、九州初公開の住友コレクションの名品と復興芦屋釜の鑑賞会が、中央公民館講座として開催されました。学芸員の新郷英弘さんの分かりやすい解説を聞いた参加者からは「すてきな釜ばかりで感動しました。茶の湯釜の重要文化財のほとんどが芦屋町発祥ということを知りました」などの感想がありました。



今年も子どもたちにクリスマスプレゼント

12月3日 日本モーターボート選手会福岡支部

日本モーターボート選手会福岡支部を代表して支部長の川上剛選手（芦屋町出身）が町内6つの保育所（園）・幼稚園の園児らに、菓子の詰め合わせをプレゼントしました。例年はサンタクロースやトナカイの衣装を着て訪問していましたが、今年は感染予防のため、園児との距離を保ち、短時間で渡すことになりました。

コロナよ鎮まれ！と願いながら町内散策

11月7日 町内疫病退散ツアー

コロナ禍の「禍」は「わざわい」と読みます。昔の芦屋人が災厄や疫病という禍といかに向き合い、対処してきたかを知る疫病退散ツアーが行われ、学芸員の山田克樹さんが町内各所を解説して回りました。山鹿の雁木地区にある疫神社の鳥居には 1919 年の年号が刻まれており、それは今から約 100 年前にインフルエンザ（スペイン風邪）が世界的大流行した年です。参加者は当時を思いながら散策していました。

